

## 特別企画講座

### 聖地巡礼 ～寺社の聖地を往く～

講師 西山 克 京都教育大学名誉教授

参詣曼荼羅という宗教的絵画があります。神社や寺が参詣者の勧誘や霊場の案内を目的に作ったもので那智参詣曼荼羅や西国三十三所の曼荼羅などが有名です。神宮を描いたものも多くあり、そのひとつ神宮徴古館所蔵の両宮曼荼羅は保存状態もよく当時の宗教観が伺え面白いものです。雲上に日輪と月輪、左右に内宮と外宮を配し宮川や五十鈴川には代垢離をする人々が見られます。天の岩戸前では巫女が舞などとして民間信仰の様子がよくわかります。実は10年ほど前にもお話していただいたのですが、内容が豊富でかなり積み残しが有りましたので、再度チャレンジです。さらに今回は神戸にある須磨寺の参詣曼荼羅もご紹介していただけます。これは文禄5年に起こった大地震で被害を受けた塔や建物の再建を目的として民間からの寄付を得るために描かれたものです。お寺の建物や参詣の人々が定型通りの描き方がされていますが、なんと菅原道真や光源氏も描かれておりその自由さに驚かされます。

日時 7月14日(水) 13:30～15:00 参加費 会員 1,150円 ビジター 1,650円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

### 伝統を守り未来へつなぐ 御食つ国みえの食材を新しい一皿に ～伊勢志摩ガストロノミー～

講師 樋口 宏江 志摩観光ホテル総料理長

伊勢志摩サミットで各国首脳を迎えた名門ホテル、言わずと知れた志摩観光ホテル。今年4月に開業70周年を迎えました。

このホテルの総料理長は2019年にNHKプロフェッショナル仕事の流儀にも出演し、感動をよんだ樋口宏江さんです。

今回は樋口総料理長のお話と料理を楽しむという贅沢な講座を企画しました。

樋口総料理長が「海の幸フランス料理」で一世を風靡した高橋忠之料理長から受け継いできた、ホテルの料理哲学「ガストロノミー」とは。

古くから「御食国」として朝廷へ食物を納めてきた伊勢志摩で料理を提供することの意味や想いを地域の魅力や食材への愛情、こだわりとともにご紹介いただきます。講座の後は三重の様々な食材を使用したメニューに舌鼓をうちながら、至福のひと時を過ごしましょう。

(当日の服装はスマートカジュアルでお越しください。交通費は各自お支払いください)

日時 7月26日(月) 11:00～13:30 参加費 会員 15,000円 ビジター 15,500円(食事代含む)  
集合場所 10:50志摩観光ホテル ザクラシック宴会場ロビー集合 定員 20名限定

### 木の建築とその実際

講師 前田 伸治 一級建築士・暮らし十職一級建築士事務所代表

昨今、公共建築も含めて木の建築が見直されてきました。

身近な自然の恵みを用いて、私たちが必要なものを作り出すという、日本人としての自然観が、その背景になっているからかも知れません。木の建築は、我が国にとって長い年月をかけて培われてきました。その意味では、自然をどのように生かすべきかを模索してきた歴史でもあり、その中で蓄えられた知恵の賜ものでもあります。木を材木屋さんから調達して作ることが一般的でしたが、山に生えている木を直接見て選別し、それを伐り倒して木取りをし、建築材として整えて建築を作るといって、本来の木造建築に戻った作り方も増えてきました。そのためには木の素性を知り、長い年月をかけて育った木の命を、建築に移し替えることが求められます。そのようにして作る建築の実際をご紹介します。

日時 8月4日(水) 13:30～15:00 参加費 会員 1,150円 ビジター 1,650円  
集合場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

## 神崎宣武塾長 特別講座

民俗学者・神崎研究室室長

### 「絵巻物」を読む

中世には、おもに寺社の縁起を説く絵巻物がたくさん描かれています。しばしば、その美術史的な評価がなされてきました。

しかし、そこに描かれた庶民の暮らしに注目して生活史的な解析はほとんどなされておられません。たとえば、「食事」や「おじぎ」や「信仰」など。

それらには、日本文化の相型といってもよいものも少なくありません。「絵は文ほどにものをいう」のです。

日時 8月18日(水) 18:30～20:00 参加費 会員 1,150円 ビジター 1,650円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

### 『「日本」に出会う』シリーズ 第18回

日本各地から地方色が失われています。そして、季節の風情や味覚までも。

つまり、日本文化を構成する多様性が失われつつあるのです。何をもち「日本らしさ」とかという議論がわかるところですが、

五十鈴塾が目指す「日本らしさ」に神崎塾長と出会いに行ってみたくと思います。

回数を重ねると、次代に繋げなければならない何かが見えてくることを期待して、歩いて・見て・話しあってみましょう。

### 神島へ行く

残暑が厳しいですがあの神島に行こうと企画しました。鳥羽のマリンターミナルから30分ほど、外洋に出ますのでお天気次第では、少々揺れますが

それもまた旅情を誘います。まず洗濯場、その昔、島の人たちは山から流れ落ちる水が集まる水路で洗濯をしていたその名残があります。

そこからかなり急な坂を登って八代神社へ、石段の数は214段、伊勢湾を航行する船乗りたちの崇敬を受けた神社で神宝がたくさんあります。

中には国の重要文化財になっているものもありますが、見ることは残念ながらできません。そこからさらに登って神島灯台へ、神島と伊良湖岬の間は

三海門の一つとされる伊良湖水道で暗礁もあり、船の往来が激しいので明治43年に灯台が作られました。今は無人灯台となっています。

今回はここまで。残暑が厳しいのと船便が少ないので島を全て巡るのは次の機会にして灯台まで行って引き返すことにいたします。

(歩きやすい服装で飲み物、おやつなどをお持ちください)

日時 8月19日(木) 7:20～12:30 参加費 会員 3,000円 ビジター 3,500円(船賃・保険料含む)  
集合場所 7:20鳥羽佐田浜港集合 定員 20名